

平成21年度 茅野市社会福祉協議会事業報告書

I 総務・企画係

総務・企画係は、係長以下5名の事務職員（内、正規2名、嘱託1名、臨時2名）で業務の執行をしました。

主な事務及び業務は、職員管理、経理事務（予算・決算等）、諸規定の見直し、寄付金、会員及び会費の管理、財務会計等システム管理、車両の管理、理事会・評議員会・経営委員会等の開催、総合相談事業、日常生活自立支援事業、ホームページの更新、社協情報紙の発行、生活福祉資金等貸付業務を実施しました。

1 理事会・評議員会の開催

5月28日	理事会・評議員会	役職交替に伴う役員の選任 平成20年度の事業報告・決算の承認
3月29日	理事会	役職交替に伴う「理事」、「評議員」の選任 茅野市社会福祉協議会経理規程の一部変更 平成21年度補正予算(第1号)の承認 平成22年度の事業計画・予算の承認等 就業規則一部変更の承認 給与規程一部変更の承認
	評議員会	役職交替に伴う「理事」、「評議員」の選任 茅野市社会福祉協議会経理規程の一部変更 平成21年度補正予算(第1号)の承認 平成22年度の事業計画・予算の承認等

2 定例監査の実施

5月22日	平成20年度の事務事業・決算等について
-------	---------------------

3 経営委員会の開催

社協の活性化、事業の推進充実強化ができるよう経営委員会を開催しました。

5月19日	平成20年度の事業報告・決算について
10月5日	「地域福祉の推進と社協の役割」について研修会 講師：茅野市社会福祉協議会地域福祉アドバイザー 原田正樹先生
12月22日	新年度事業について 社協強化発展計画について 経営委員の任期満了に伴う委員の推薦について
2月15日	経営委員長及び副委員長の互選について 社会福祉協議会の概要について
3月18日	平成22年度事業計画・予算について

4 役職員研修会の開催

(1) 役職員研修会の開催

10月23日	<p style="text-align: right;">＜対象者：理事 職員＞</p> <p>諏訪ブロック社協 役員及び職員合同研修会 「社協とは福祉と暮らしの総合商社」 講師：伊賀市社協局長 平井 俊圭 氏</p>
2月22日	<p style="text-align: right;">＜対象者：理事 経営委員 職員＞</p> <p>「地域福祉推進に関わる茅野市社協の役割と期待」 講師：茅野市社会福祉協議会地域福祉アドバイザー 原田 正樹先生</p>

(2) 職員研修会の開催

	＜対象者：職員＞
4月13日	<p>福祉21 ビーナスプラン職員研修会(市と共催)</p> <p>「福祉21 ビーナスプランの基礎研修」</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉21 ビーナスプラン（茅野市地域福祉計画）の理念、経過、システムと新たな課題の理解 <p style="text-align: right;">講師 原田 正樹先生</p>
9月22日	<p>「コミュニティソーシャルワーク研修」</p> <ul style="list-style-type: none"> 地区で策定する地域福祉行動計画についての理解 策定作業に必要な事前知識の習得 <p style="text-align: right;">講師 原田 正樹先生他</p>
10月29日	<p>「困難事例の検討を中心とした研修」</p> <ul style="list-style-type: none"> 昨年度のフォローアップ研修 <p style="text-align: right;">講師 山口 光治先生</p>
2月 5日	<p>「地域包括ケアとチームアプローチ研修」</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケアの推進と地域包括支援センターの効果的な活動に向けて <p style="text-align: right;">講師 野川ともえ先生</p>
2月22日	<p>「福祉教育研修」</p> <ul style="list-style-type: none"> 共に生きること共に学びあうこと ー大切にしたい視点 <p style="text-align: right;">講師 原田 正樹先生</p>

5 総合相談事業の実施

(1) 心配ごと相談

福祉・生計・住宅・家族その他の心配ごとに対し、経験豊かな民生児童委員経験者等が相談に応じ、悩みや問題を傾聴する中で、心の整理の糸口を探します。また必要に応じ、社協の法律相談などの専門相談窓口への紹介や他の専門機関への橋渡しをしています。

○開設日時 毎週金曜日 午前9時から正午まで

○会 場 茅野市総合福祉センター 第4会議室

○相談員 民生児童委員経験者または学識経験者(4名)および社協事務局長 計5名(相談日1名体制で対応)

○相談件数

	21年度	20年度	19年度	18年度	17年度
開設日	51日	50日	50日	50日	49日
相談件数	44件	49件	40件	31件	33件

○対応状況 助言：17件 他機関を紹介：25件 その他：2件

(2) 結婚相談

結婚相談は、8名の相談員で構成され、広く結婚の紹介ならびに相談に応じ、結婚成立のために寄与するとともに、福祉の増進に務めています。

茅野市結婚相談所PR用ポスターを、市内の理美容組合加盟店舗・コンビニエンスストア・郵便局・農協・市内温泉施設への掲示。夜間相談等、登録者の利便性を高めた結果、登録者本人の来所、相談件数ともに過去最高となり、11月から相談員の人数を2名増員し、より相談体制の充実を図りました。

○ 開設日時 毎月第1・第3土曜日 午後1時から4時まで
毎月第2・第4金曜日 午後6時30分から8時30分まで
開催回数 46回（月4回）

○会 場 茅野市総合福祉センター 第4会議室

○相談員 相談員8名（相談日には4名体制で対応）

○登録者数 男性：62名（+10名） 女性：34名（+4名）※（）内は前年度比

○成 婚 数 7件《内、登録者同士の成婚1件》（-7件）※（）内は前年度比

○相談件数

	21年度	20年度	19年度	18年度	17年度
男 性	358件	265件	172件	112件	116件
女 性	156件	117件	61件	32件	44件
計	514件	382件	233件	144件	160件
本人来所率	90.1%	89.8%	88.8%	80.6%	78.1%

(3) 司法書士の法律相談

司法書士会茅野地区会に相談員（成年後見制度研修修了者／4名）を委嘱し相談窓口を開設しています。

身近な法律相談窓口として、住民のあらゆる生活問題を受け止め、問題解決につなげていくための、専門的な助言（小額訴訟手続きや多重債務に関する助言等）や情報提供を行なっています。

また、必要に応じて弁護士あるいは家庭裁判所等の専門機関への紹介を行なっています。

○開設日時 毎月第2水曜日 午後3時から5時まで
完全予約制（1日3件まで）

○会 場 茅野市総合福祉センター 第3会議室

○相談員 司法書士会茅野地区会（成年後見制度研修修了者／4名）

○相談件数 【対応状況 解決：19件 他機関を紹介：2件 その他：10件】

	21年度	20年度	19年度	18年度	17年度
開設日	12日	12日	12日	12日	12日
相談件数	31件	28件	31件	26件	31件

(4) あなたと家族の悩み相談

病気や事故等で、家族や身内を亡くされた方や、現在闘病中の方や悩みを抱えている方の心のケアについて電話相談に応じ、癒しやその後の精神的自立を援助することを目的としています。

相談援助の内容は、傾聴を主とし、相談者が自立できる方向付けの援助、地域の自助グループについての情報提供を行ないます。

また、必要に応じて、医師、臨床心理士、宗教家、カウンセラー等の専門相談員を紹介しています。

相談は、ボランティアグループ「家族のサポートライン」のメンバーが担当し、社協は、相談室や電話の貸し出し等の支援を行っています。

○開設日時 毎月第1、第3月曜日 午後2時から4時まで

○会場 茅野市総合福祉センター 第4会議室

○相談員 市民活動を通じて、ターミナルケア活動に実績があり、社協の指定する研修を修了した方々（家族のサポートライン）に委嘱しています。

○相談件数

	21年度	20年度	19年度	18年度	17年度
開設日	21日	20日	18日	21日	21日
相談件数	2件	5件	1件	5件	2件

(5) 心の健康相談室

家族のことや職場などでの人間関係により精神的に不安定な状態にある方に対し、問題解決に向けて適切なカウンセリングを行い、精神的な健康を援助しています。

相談援助内容は完全予約制の面接相談と相談者によっては、電話相談にも応じています。

○開設日時 第1・第3火曜日 午前10時から12時まで

第2・第4水曜日 午後1時30分から3時30分まで

（祝祭日および年末年始を除く）

○会場 茅野市総合福祉センター 第4会議室

○相談員 沼倉たか子さん（認定心理士）・小泉千波さん（精神保健福祉士）

○相談件数

	21年度	20年度	19年度	18年度	17年度
開設日	44日	46日	47日	47日	43日
相談件数	11件	10件	20件	27件	25件
相談来訪者数(延べ)	11名	9名	16名	27名	25名

○対応状況 解決：8件 他機関を紹介：1件 その他：2件

6 暮らしのつなぎ資金貸付事業

市内の要保護世帯及び母子世帯等に対し、一時生活のつなぎ資金を必要とする場合の短期（返済期間は6ヶ月以内）の無利子融資（貸付限度額4万円）で、自立更正等を図る自主事業として実施しました。

資 金 名	21年度貸付		20年度貸付		貸付残額	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
暮らしのつなぎ資金	26	930,000 円	13	415,000 円	28	945,500 円

7 生活福祉資金等貸付事業（県社協受託事業）

低所得者、高齢者、身体障害者、失業者等の世帯で貸付を行うことにより自立が見込まれる世帯に対して、必要な援助指導を行い、経済的自立と社会参加の促進を図るための受託事業として貸付事業を実施しました。

（1）総合支援資金

対象及び内容：失業者等、日常生活全般に困難を抱えており、生活の立て直しのために継続的な相談支援（就労支援、家計指導等）と生活費及び一時的な資金を必要とし、貸付を行うことにより自立が見込まれる世帯に生活再建までの間に必要な生活費用の貸付 貸付限度額：資金の種類により60万円以内 利子：連帯保証人有り無利子、保証人無し年1.5%

（2）福祉資金

○福祉費

対象及び内容：低所得者、高齢者、身体障害者等の世帯に日常生活を送る上で、又は自立生活に資するために一時的に必要であると見込まれる費用の貸付 貸付限度額：資金の種類により580万円以内 利子：連帯保証人有り無利子、保証人無し年1.5%

○緊急小口資金

対象及び内容：緊急かつ一時的に生計の維持が困難となり収入の見込みがある場合一時的な生活費の貸付 貸付限度額：10万円以内 利子：無利子

（3）教育支援資金

対象及び内容：低所得世帯に属する者が高等学校、大学又は高等専門学校に入学、就学するための必要経費の貸付 貸付限度額：資金の種類により362万円以内 利子：無利子

（4）不動産担保型福祉資金

対象及び内容：低所得の高齢者世帯又は要保護の高齢者世帯に対し、一定の居住用不動産を有し、将来にわたりその住居に住みつづけることを希望する低所得の高齢者世帯に対し、該当不動産（住居用不動産の土地・建物）を担保として生活費の貸付 貸付限度額：土地の評価額の7割程度 利子：年3%

資 金 名	2 1 年度貸付		2 0 年度貸付		貸付残額	
	件数	金額（元金）	件数	金額（元金）	件数	金額（利子含む）
総合支援資金	5	2,864,000 円			5	3,020,795 円
離職者支援資金	0	0 円	1	800,000 円	5	7,492,500 円
生活福祉資金	19	7,655,000 円	5	2,240,000 円	30	7,285,762 円
不動産担保型長期支援資金	0	0 円	0	円 0	1	4,084,117 円
合 計	24	10,519,000 円	6	3,040,000 円	41	21,883,174 円

* 完了者 4 件（内 年度内貸付者 1 件）

8 日常生活自立支援事業の実施

県社協が事業の実施主体となる「日常生活自立支援事業」を県内市町村で実施するため、当市社協は基幹的社協に位置付けられています。

この事業は、認知症高齢者、知的障害者、精神障害者など判断能力が不十分な方に対して、住み慣れた地域の中で生活ができるように、福祉サービスを利用するときの手続きや利用料の支払いのお手伝い、または、日常生活に必要な預貯金の出し入れや書類等の預かりを支援するサービスです。

当市社協では、担当職員（専門員）を配置し当事業に関する相談に応じるほか、富士見町と原村を管轄しており、各市町村には生活支援員を配置し、預貯金の払戻しや相談に応じる生活支援員を茅野市 2 名、富士見町 3 名、原村 1 名の 6 名を配置し、利用者の訪問援助を中心に事業を実施しました。

○生活支援員 茅 野 市：小泉徳さん、横井幸子さん

富士見町：名取いつ子さん、小林てるさん、富士見町社協 三井悦子担当

原村：原村社協 牛山亜矢子担当

○相談件数等 （回数） 2, 2 0 0 回 （件数） 9, 0 3 0 件

○契約内容 新規契約締結件数：5 件 契約締結累計：5 9 件

H 2 2 . 3 . 3 1 現在 実契約件数：2 9 件（内訳：茅野市 1 7 件、富士見町 5 件、原村 7 件）

年度内 解約件数：6 件 解約件数累計：3 0 件

9 茅野市社会福祉大会の開催

1 0 月 2 4 日（土）	『共に生きる地域づくり』 ～人と自然の共生～ <参加者：300 名>
	（1）式典
	（2）「緑のカーテン大作戦 in ちの」優秀作品の表彰
	（3）講演会 演題「森から未来をみる」 講師 C.W. ニコルさん

10 茅野市戦没者等合同追悼式の開催

期日：8月22日（土） 会場：茅野市民館 参加者：300名

11 団体事務

- （１）茅野市高齢者クラブ連合会事務局
- （２）茅野市生活改善推進実行委員会

12 会費の収納

茅野市社会福祉協議会は、市内全世帯が会員であることを前提とした会費が、主な自主財源の一つとなっています。

特に、会費については、当法人の趣旨に、ご理解・ご賛同をいただくなかで納めていただいております。納入いただく会費の金額は普通会員（1,000円）、賛助会員（2,000円）、特別会員（3,000円以上）となっています。

平成21年度 会費会員別集計表

	普通会員		賛助会員		特別会員		合計	
	(1 ～ 1 , 9 9 9 円)		(2 , 0 0 0 ～ 2 , 9 9 9 円)		(3 , 0 0 0 円以上)			
地区名	世帯数	金額	世帯数	金額	世帯数	金額	世帯数	金額
	(件)	(円)	(件)	(円)	(件)	(円)	(件)	(円)
ちの	1, 838	1, 815, 911	129	258, 000	57	220, 000	2, 024	2, 293, 911
宮川	1, 658	1, 635, 775	108	216, 000	50	168, 000	1, 816	2, 019, 775
米沢	516	510, 750	31	62, 200	12	45, 000	559	617, 950
豊平	926	921, 950	35	70, 000	26	110, 000	987	1, 101, 950
玉川	1, 874	1, 851, 715	91	182, 000	30	99, 500	1, 995	2, 133, 215
泉野	374	369, 000	23	46, 000	12	38, 000	409	453, 000
金沢	547	543, 000	54	108, 000	18	61, 000	619	712, 000
湖東	556	552, 300	21	42, 000	10	39, 000	587	633, 300
北山	654	645, 100	29	58, 000	12	38, 000	695	741, 100
中大塩	280	269, 900	17	34, 000	19	57, 000	316	360, 900
地区外	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	9, 223	9, 115, 401	538	1, 076, 200	246	875, 500	10, 007	11, 067, 101

Ⅱ 地域生活支援係

「一人ひとりの地域生活支援を軸に福祉コミュニティを形成する」ことを目標に各保健福祉サービスセンターに2名ずつ職員を配置し、係長以下10名の職員（内：正規2名、嘱託7名、臨時1名）体制で業務を行いました。各サービスセンターでは、徹底した個別訪問活動による地域住民との関係づくりと個別ニーズの早期発見に努め、ニーズに基づいた個別支援活動に取り組んでいます。

また、互いに支えあえる地域づくりをすすめるため、地区コミュニティセンターや保健福祉サービスセンターと協働して地区社協、各区・自治会の福祉推進委員の活動を積極的に支援しています。

1. 小地域福祉活動の促進

（1）小地域ネットワークづくり事業

①地区社会福祉協議会活動の支援

各地区の住民自身による福祉活動を推進していただくために、地区社協活動を各地区コミュニティセンターと協働で支援しました。

地区社協の主な活動

- ・地区福祉行動計画策定への参画
- ・地区ボランティア活動費の助成
- ・福祉推進委員活動費の助成
- ・福祉推進委員連絡会や研修会の開催
- ・福祉まつり等の開催
- ・戦没者等追悼式の開催
- ・情報誌の発行
- ・地区福祉行動計画策定に伴う住民福祉意識調査
- ・高齢者等の昼食会や配食
- ・高齢者と子どもの交流活動
- ・赤い羽根共同募金活動
- ・社協会費収納協力 など

②福祉推進委員活動の支援

福祉推進委員（3月31日現在293名）全員を対象に、研修会を開催しました。各地区でも地区社協などが主催して研修会や連絡会を開催しています。

また、支えあいマップづくりをはじめ、福祉推進委員活動全般について相談に応じ、活動を支援しました。

ア 福祉推進委員研修会の開催

- ・期 日：平成22年2月6日（土）
- ・会 場：茅野市役所 大ホール
- ・内 容：福祉推進委員活動についての説明、事例報告、体験発表
- ・参加者：福祉推進委員を中心に約180名の市民が参加

イ 各区では、以下のような活動に取り組んでいます。

- ・福祉推進委員会の組織化
- ・地区単位で福祉推進委員連絡会を組織化して情報交換、情報誌発行、研修会を開催
- ・高齢者の食事会やお楽しみ会、配食
- ・区内の花壇の整備やプランターへの花植え、畑作り
- ・お花見会、カレー会
- ・福祉推進委員だよりの発行
- ・福祉や生活の課題を話し合う懇談会
- ・福祉についての講演会や研修会、学習会
- ・困りごとなどについて個別の訪問聴き取り調査
- ・ボランティアや高齢者クラブなどの関係団体による定期的な情報交換
- ・災害時要援護者支えあいマップ（おたがいさまっふ）づくり
- ・自主防災組織と協働しての防災訓練
- ・買い物やゴミ出しなどの個別支援活動
- ・区内の見回り、除雪
- ・高齢者宅の訪問、見守り、声かけ など

2. 住民の日常生活支援

（１）個別訪問支援活動の実施

日常業務として、独居高齢者や高齢者世帯、社協サービス利用世帯等の個別訪問活動を行っています。

個別支援の活動として ①ニーズの早期発見と掘り起こし ②生活関連の支援 ③家族関係の調整 ④ソーシャルサポートネットワークづくり ⑤セルフヘルプグループづくりの支援 ⑥地域との接点づくり（孤立防止） ⑦セーフティネット 等の機能を果たしています。

また、これらの活動は、保健福祉サービスセンターなどの専門機関をはじめ、必要に応じて地域住民の皆さんとも協働して実施しています。

○個別訪問の状況（訪問のべ件数）

	ちの	宮川	米沢	豊平	玉川	泉野	金沢	湖東	北山	中大塩
独居高齢者	188	328	86	148	228	130	54	396	306	47
高齢者のみ世帯	99	152	36	15	70	13	26	92	88	0
障害者世帯	8	34	3	0	3	0	0	13	40	4
その他	0	61	26	28	19	31	12	0	40	23
計	295	575	151	191	320	174	92	501	474	74

（２）移送サービス事業の実施

一般の交通機関を利用して外出することが困難な市民の生活圏の拡大と社会参加を支援するために、福祉車両４台で送迎サービスを実施しています。

平成21年度は、運行協力員13名とタクシー業者6社により実施しました。

○利用人数

104名（内 男性31名 女性73名） *新規登録 16名（再掲）

○利用件数

*前年度と比較し、総件数で385件の増

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
件数	464	400	466	489	420	427	433	387	377	345	307	367	4,882

○主な利用目的

中央病院通院 1,284 件	中央病院透析 1,202 件	その他通院 1,257 件	買い物 82 件
ボランティア活動参加 121 件	ほのぼの透析室 726 件	すずめのお宿 38 件	入浴 26 件

（３）配食サービス（おたっしや弁当）事業の実施

市内の高齢の方や障害を持つ方などに対し、栄養のバランスのとれた食事を提供するとともに、配達員による見守り活動としても有効に機能しています。

○弁当代：450 円（内、個人負担 350 円）おかずのみ：370 円（内、個人負担 270 円）

○利用者の状況（平成 21 年度実利用者）

《委託業者：丸中食品》

利 用 者（対象者）（水曜日のみ、一部地域のボランティアが配達）	人 数
65 歳以上の独り暮らしの方	55 名
高齢者のみの世帯で、食事づくりが困難な方	39 名
独り暮らしの障害者	6 名
寝たきりの人がいる 2 人世帯	3 名
その他	
①昼間は高齢者のみとなり、調理が困難な方	31 名
②昼間は障害者のみとなり、調理が困難な方	14 名
③社協会長が必要と認めた方	3 名
合 計	151 名

○利用実績

*前年度と比較し、569 食の減

延べ利用者数	新規（再掲）	毎日型（再掲）	ボランティア配達（再掲）
1,148 人	51 人	296 人	4 人
延べ配食数	おかずのみ（再掲）	V r 配食数（再掲）	
21,511 食	12,603 食	116 食	

（４）ご用聞き訪問事業の実施

市内の独居高齢者などに、定期的にお便りを出すことで孤独感の解消、安否確認、情報提供、ニーズ把握などを行っています。お便りは郵便局員による手渡しで、年 4 回発送。内容は健康・福祉・身近な生活の話題など、高齢者の方に知っていただきたい話題を盛り込み、地域の福祉の相談窓口としての地域生活支援係を知っていただくことにも努めました。

（５）独り暮らし高齢者安心コール事業の実施

独り暮らしの高齢者と定期的に電話でコミュニケーションを図ることにより、安否確認や健康状態、生活状況を確認すると共に、孤独感の緩和を目的に実施しました。

○事業内容：最大週 2 回本人の希望する曜日と時間に協力者より電話をかける。

○協 力 者：9 名

○対 象 者：おおむね 65 歳以上の独り暮らし高齢者 22 名

○利用実績

通話	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実績	回	105	113	139	135	123	126	137	134	133	130	116	132	1523

（６）介護予防通所事業（塩つぼの湯デイサービス）の実施

特定高齢者の認定を受けた方で、通所サービスを行うことによって要介護状態となるのを未然に防止することが有効な方を対象に、老人福祉センター塩つぼの湯において、送迎・食事・相談・交流活動等を実施しました。11 月からは毎月 1 回、運動指導士による運動機能評価や個別指導を実施しています。

○実施日：毎週月・火・水・木・金曜日

○利用時間：午前 10 時から午後 4 時

○実施状況

*前年度と比較し、延べ 318 名の増

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	21	18	22	22	19	19	21	19	18	17	19	20	235
利用者数	247	208	280	294	243	256	281	261	256	223	252	257	3058

（７）在宅介護者リフレッシュふれあい相談事業の実施

家庭で介護をされている方々を対象に、食事や温泉入浴、レクリエーションなどを通じて相互の情報交換や仲間作りをしていただきます。また、介護や健康相談などに応じることで、悩みや心配事の解決を図りました。

○実施状況

実施日	行き先	参加者	内 容
第 1 回 10 月 3 日	かやぶきの館（辰野町）	30 名	温泉入浴、昼食会、散策、介護・健康相談
第 2 回 3 月 6 日	蓼科グランドホテル 滝の湯	44 名	温泉入浴、昼食会（市長懇談）、御柱・昔の茅野市映写鑑賞、介護・健康相談

（８）安心生活創造事業の取り組み

住み慣れた地域で安心した生活を営むことができるよう、生活課題を抱えた方を早期に発見し必要な対応を図っていくために、平成 21 年 10 月から茅野市が厚生労働省の補助金を活用して取り組んでいる事業です。社会福祉協議会では、茅野市からこの事業を受託し、これまでの個別訪問支援活動の充実を図ります。平成 21 年度は、厚生労働省・茅野市との打合せ、この事業に取り組む他市町村とのブロック会議等に参加し、具体的な取り組み方策について検討してきました。

3. その他

（１）共同募金会茅野市支会事務局

長野県共同募金会茅野市支会の事務局として、赤い羽根共同募金活動全般のとりまとめを行いました。

○募金期間：平成 21 年 10 月 1 日から平成 21 年 12 月 31 日

○募金総額：10,339,304 円

Ⅲ 在宅福祉係

在宅福祉係は、係長以下4名の事務職員等（内、正規3名、臨時1名）と15名の介護職員（内、正規1名、嘱託10名、臨時4名）のほか、約42名の登録ヘルパーにより業務の執行をしております。

主な業務は、介護保険関係事業、自立支援サービス事業を実施しています。24時間ホームヘルプサービス体制の中で、研修等を重ね、地域生活支援係や各サービスセンターとの連携を密にしながら利用者へのより良い介護サービス提供に努めました。

1 介護保険事業及び自立支援サービス事業

(1) 居宅介護支援事業所【正規3名（兼務1名）・臨時1名】 本部

(2) 訪問介護事業所【ホームヘルプ業務】

○ 東部訪問介護事業所【嘱託2名・登録22名】

東部保健福祉サービスセンター内

○ 西部訪問介護事業所【正規1名・嘱託2名・登録16名】

西部保健福祉サービスセンター内

(3) 西部デイサービスセンター【嘱託6名・臨時4名・登録4名】

西部保健福祉サービスセンター内

(4) 自立支援費サービス事業（身体・知的・児童・精神）（東部・西部）訪問介護事業所

2 勉強会参加及び介護職員研修会の実施

市民の皆様に質の高いより良い介護サービスを実施するために、各種研修会・勉強会の参加及び事業所独自で職員研修会を実施しました。

（※各事業所実績表 15P参照）

地域活動支援センター「あすなろセンター」事業報告

（第1部）精密作業部門

- | | | | |
|---|------|---------------------------|----------------|
| 1 | 通所人員 | 4名 | (平成21年4月1日現在) |
| 2 | 作業内容 | タップ加工（雌ネジ立て）製品検査 | バリ取り作業 |
| 3 | 取引業者 | (有)進和製作所 (有)ミサキ工業 (有)茅野工業 | |
| 4 | 総収入額 | 1,700,412円 | (平成22年3月31日現在) |

5 平均賃金 (月) 25,376円/1人
(年3回) 120,581円/1人

6 目 標

- ・身体障害を乗り越え、機能に応じた作業に喜びを得る。
- ・自分達の力で加工、検査した製品が世の中で大勢の人々に役だっていることに、自覚と喜びを持ち作業に取り込む。
- ・あすなろセンターにおいて習得した技術と生活習慣を基に、自立し積極的に社会参加する。

7 諸活動等

(1) 営業活動

コンスタントな受注量の確保対策として発注元への協力依頼と、厳しい納期にあっても、これに応えるべく最大限の努力をして受注量の安定確保を図っておりますが、長引く景気の低迷により厳しい経済状況の中、受注金額も前年度を120万円も大幅に下回ってしまい、厳しい状況があります。

(2) 通所・退所状況

平成21年4月当初は4名の通所がございましたが、年度途中で1名ずつの入・退所があり、現在は4名で稼働しています。

最近の経済情勢は厳しく、受注も少なくなっておりますが、会社等の情報を収集し積極的に受注依頼に心がけ、受注を増やし、また、その作業する者の通所希望者を募り技術を習得され、一般就労に向けて社会参加できるよう施設として推進しています。

(第2部) 軽作業部門

1 通所人員 24名 (平成21年4月1日現在)
23名 (平成22年3月31日現在)

2 作業内容 寒天袋詰め作業、ボカシ製造・販売、安全ピン
にんにくの皮向き作業、飾りおんべ、御柱Tシャツ
紙薪、かりんの毛ふき作業(11月～12月)

3 取引業者 寒天 (有)イリイチ かりん(株)原田商店
にんにく レストラン梅蔵 (株)アクティブライフ

4 総収入額 937,280円 (平成22年3月31日現在)

5 平均賃金 (月) 1,640円/1人
(年3回) 4,380円/1人

6 目 的

自主通所することにより社会生活の場を拡げ、多くの作業種目を体験し各行事を通して仲間と係わりあいながら、ボランティアグループ等(特に茅野市民生児童委員)と交流し、生活習慣の改善や心身向上等身体機能の保持を目指した活動をする

7 諸活動等

(1) 年間を通して実施したもの

- ・軽スポーツとして月1回ちの地区センター等で実施
- ・民生児童委員9地区、延べ人数43名の民生児童委員訪問交流
- ・手話ダンス「ボランティア虹の会」との交流会を2ヶ月に1回実施
- ・誕生会を毎月中旬に実施
- ・手芸、習字、正月遊びゲーム等クラブ活動を月1回実施
- ・諏訪養護学校生徒現場実習受け入れ
- ・大学生、専門学校生教育実習受け入れ
- ・社協新職員現場実習受け入れ
- ・定例社協職員会議 毎月中旬実施
- ・定例職員会議 毎月下旬実施

(2) 個々に実施するもの

- ・H21年度保護者会（新年度総会） (4/22)
- ・永明寺山公園墓地に花見会 (4/23)
- ・諏訪地区身障者スポーツ大会 於 下諏訪町体育館 (5/30)
- ・長野県福祉大学校でのシーツ交換実習 (6/16、19、24)
- ・あすなろセンター運営委員会 (6/29)
- ・あすなろセンター保護者会納涼祭 (7/18)
- ・「第28回ふれあいのつどい」への参加 於 茅野市民館 (8/30)
- ・避難訓練及び消火訓練 通所者・職員26名参加 (9/17)
- ・あすなろセンター保護者会清掃（窓ふき・床ワックスがけ） (10/3)
- ・ミニ運動会 会場家庭教育センター体育館 通所者、保護者、職員参加 (11/7)
- ・上原区内 北原幸男様果樹園に於いて「リンゴ狩り」 (11/17)
- ・クリスマス会 「ごん爺さんと仲間たち」 (12/17)
- ・保護者会定期総会 (3/26)

(3) 通所者の状況及び課題

養護学校等から卒業された生徒の一部受け入れを行う施設でもあり、今後計画的に収容できるスペースやスタッフ等の検討が必要と考えられます。

これからも施設等の体制を整え地域活動支援の場として仕事、体力、生活面の指導に力を入れ、通所者が一社会人として対応でき社会参加できるよう進めて参ります。

(4) 受注状況

寒天事業者イリイチ商店さんのご協力により、寒天の袋詰め作業の受注をいただいております。前年より受注は少し減少していますが、収入の主な作業として全員で取り組んでいます。

また、色々な作業の経験の必要性和受注を安定的に確保するため、他の仕事の開拓等を積極的に進めたいと考えています。

IV ボランティア・市民活動センター

ボランティア・市民活動センターは、所長以下4名の職員（内：正規1名・嘱託1名・臨時2名）にて、ボランティア・市民活動の促進や支援、福祉意識の醸成、福祉教育・学習の推進、福祉情報の収集・発信、人材養成や研修、住民参加型福祉サービスの推進などを企画・実施しました。また、21年度は特に、福祉21ビーンズプラン第2次計画の策定や『ひとづくり』『産業振興』を中心にまちづくりを進めるという市の方針とも連携しながら、事業を企画・実施してきました。

1 地域福祉活動の推進

（1）いきいきサロンの推進・支援

『いきいきサロン』活動は、“閉じこもり”や“孤独”を防ぎ、『寝たきり予防・認知症予防』につながるといわれています。また、それはお年寄りのみならず住民同士の交流の場であり、個別課題発見の場、共育ちの場としての役割なども併せ持つ『地域福祉の切り札！』ともいえる活動です。

① 開催状況《別添資料1》

開催場所	開催回数	延利用者数	延ボランティア数	主な活動内容
82	443	8,347	5,786	おしゃべり・茶話会・福祉レク・世代間交流 季節の行事・健康の話・戸外へ など

② 研修会開催（諏訪ブロックボランティア研究集会として協働・開催）

『すわ発ふれあいサロンサミット2009』 7月5日（土）

内 容：①サロン談義：“ふれあいいきいきサロン”で地域がつながる！！

②サロン広場：『レクリエーション』・『始めの一步』・『一歩進める』

会 場：諏訪市『湯小路いきいき元気館』 茅野市からの参加者：89名

（2）地区ボランティアコーディネーター連絡会の開催（委員20名）

地域福祉推進のキーパーソンとして活動する地区ボランティアコーディネーターとの情報交換・協働・学びあいの場として開催しました。（地区社協会長：推薦・社協会長：委嘱）

① 連絡会の開催 計12回

② 歴代の地区V. コーディネーターさん大集合！開催〈12月1日（火）〉

平成4年に地区V. コーディネーター制度が発足されてから17年が経過するなかでの検証や、地域のボランティア活動を育んできた先輩達の熱い思いなどをお聴きし、今後の4層・5層のボランティア・市民活動推進に活かすことを目的に実施（参加者：53名）。

ボランティアグループ『幸せ応援団』として、3／25に発足（目的：仲間づくり、元気づくり、ボランティア市民活動推進に関する応援団など）。

③ 先駆的活動の視察研修〈2月23日（火）〉

視察地：泰阜村高齢者協働企業組合泰阜（スウェーデンモデルの共同住宅・地域交流センター）と『しゅふふ』（地産地消の手づくりレストラン）

目的：崩壊した家族機能の代替を地域の活性化などを目指している活動（参加者：20名）

(3) 地区ボランティアグループの活動支援・協働

《活動例：いきいきサロン・配食活動、見守り、声かけ、子育て支援、買い物支援、など》

地区名	ちの	宮川	米沢	豊平	玉川	泉野	金沢	湖東	北山	中大塩
ボランティア数	196	307	65	39	174	18	68	38	60	31

①先進地視察研修の実施

地区ボランティアグループ会員の資質向上や情報収集、ネットワークづくりなどを目的として実施しました。

開催日	実施グループ	視察先	参加人数（人）
7月 7日（火）	宮川ボランティア愛の会	市内の福祉施設めぐり	計32名
10月13日（火）	米沢地区ボランティアの会	小布施町 くりのみ学園	計31名
10月24日（土）	金沢地区ボランティア会	佐久市社会福祉協議会	計28名

(4) シャララ・ほっとサービス事業の実施

高齢の方や障害を持つ方、子育て中の家庭などが、日常生活の中で困ったことが起きたり誰かの助けが必要になった時、『お互い様』の気持ちでお手伝いができたり、利用することができたら、そんな願いでシャララ・ほっとサービスは運営されています。

① 利用実績

	高齢者世帯	障害者のいる世帯	子育て中の世帯
状況	リュウマチの方、足腰の悪い方、力仕事が困難な方、認知症の方、骨折の方、退院後間もない方、入院中の方、寝たきりの方 など	心の病（統合失調症等）を持つ方、視覚障害の方、車椅子の方 など	母子家庭、父子家庭、障害児家庭、共稼ぎの家庭、親族が遠方の家庭 など
援助内容	掃除、洗濯、見守り、食事作り、買い物、話し相手、歩行介助、リサイクル分別、ごみ出し、草取り、障子張替え、よしずかけ、風呂のカビ取り、窓拭き換気扇カバー取替え、雪かきなど	掃除、片付け、移動外出介助、食事作り、話し相手、買い物、側溝掃除、衣類片付け、鉢植え替え、話しながらの散歩 など	喘息の子ども部屋の掃除、母親が仕事から戻るまでの見守り、母親の具合が悪い時の見守り、学習指導など
利用世帯数	42世帯	8世帯	4世帯
延べ利用回数	401回	35回	20回

② シャララ・ほっとサービス運営委員会の開催（委員10名）

事業の適正な運営を行うため、計4回の運営委員会を開催し協議してきました。

③ 研修会などの実施状況

○ 協力会員研修会 3回 ○ 情報交換会 2回 ○ 視察受け入れ 1回（原村）

④ 登録状況

○ 登録利用会員数（118名 内、新規22名） ○ 登録協力会員数（35名）

2 福祉教育、ボランティア・市民活動の推進

家庭・学校・地域における福祉教育〔学習〕の推進・支援

福祉教育を子どもから大人までの、“人権教育”“共育”にとらえて、『福祉の心』や『共に生きる力（知恵）』を育み豊かな地域づくりにつなげるための、参加・体験・学習などを目的として実施しました。

（１）茅野子ども福祉教室の開催

市内の５年生から中学生を対象に、様々なサブスタッフの協力を得て、ボランティアグループ『茅野子ども福祉教室』とセンターの協働で実施しました。

○ 参加者数 小学生６名 中学生５名

○ ボランティアスタッフ（高校生２名・理科大生９名・社会人１２名）計２３名

活動内容

実施日	テーマ	内 容	サブスタッフ
５月１６日（土）	開講式 みんなと仲良くなろう	・開講式 ゲーム・自己紹介・茶話会	ボランティアスタッフ
６月２０日（土）	世界の国からこんにちは！	・カナダの料理と遊びを教 えてもらおう！	茅野市在住のカナダの 方のご家族
７月１８日（土）	耳が聞えないってどういうこ と～鈴木君の毎日は？～	・サブスタッフの話 ・やさしい手話学習	聴覚障害者、手話通訳 者、鈴木君（参加者）
９月６日（日）	僕らは災害レスキュー ー隊	・災害救援ボランティアセ ンター立ち上げ訓練	茅野レスキューネット ほか
１０月１７日（土）	電車でＧＯ	・聴導犬・介助犬訓練セン ター（宮田村）へ行こう	（福）日本聴導犬協会 （宮田村）
１１月２１日（土）	地域のおばあちゃんたちと うどん作り	・うどんづくり ・子どもの頃のお話し	地域の高齢者 （８０歳以上の方）

（２）出前福祉教室の開催

学校、地域の依頼を受け『共に生きる』という視点を大切にしながら、（先生や講師をしていただく地域の方々と協議して）実施する子ども達を主な対象とした福祉教室です。

開催実績

開催数	開催学校数	延参加者数
２８回	１３校	１，７６４名

（３）サマーチャレンジ 2009 の実施

小学校高学年から社会人までを対象に『ボランティア体験 始めの一步』として、今後のボランティア活動のきっかけとなることを目的に企画・実施しました。

実施日	内 容	協力施設	参加者
７月２７日（月） ～９月１８日（金）	希望する日時に福祉施設など でボランティア体験をする。施設 の役割、思いを知るとともに、利 用者などとの交流を深める。	市内の２２施設 内、実際の体験施設 １０施設	１２名（内、小学 生１名、高校生１ 名、大学・短大生 ７名、社会人３名）

(4) 福祉教育・ボランティア学習研修会の開催

福祉教育・ボランティア学習の意義を共有するとともに、子どもたちを育む地域の大人として、協働実践の大切さや参加体験型学習の楽しさを体験していただき、今後の実践につなげるために開催しました。

日 時：2月22日（月） 会場：家庭教育センター

内 容：シンポジウム 『共に生きること 共に学びあうこと ―大切にしたい視点―』

参加者：54名（教員、ボランティア活動実践者、民生児童委員 等）

(5) 福祉講座の開催

福祉の現況やV活動者・地域住民のニーズに対応する講座として企画・開催しました。

① 福祉講座：絵手紙講座 【共催：エンジェル絵手紙の会】

開催日：5月15日（金）、22日（金）、29日（金）

講師：日本絵手紙協会 樋口靖子氏 参加者：25名

② 『まちの縁側』づくり講座

茅野市のまちを元気にすると称して、昔あったやさしい場所『まちの縁側』づくりを、先進地の活動を通して学びあいました

《パート1》

開催日：6月20日（日） 会場：総合福祉センター3階

参加者 46名 内容：幻燈と話（げんとく）

講師：延藤安弘先生（NPOまちの縁側育み隊代表理事・愛知県産業大学大学院教授）

《パート2》

先進地視察として長野市社会福祉協議会に伺いました。

開催日：10月15日（金） 会場：長野市社会福祉協議会・三陽地区 参加者：16名

内容：講義（げんとく）、まちの縁側探検、発見、ほっとけん、出発、みんなでワーク

③ 家具止め講習会

市民ができる『災害に強いまちづくり』のひとつとして、“命を守る”“家内安全”のための『家具止め講習会』を実施しました（対象・関心のある宮川・金沢地区の方々）。

開催日：2月14日（土） 会場：宮川地区コミュニティセンター

講師：鈴木啓之さん（たくみ設計室）豊田市在住 参加者：25名

協力：茅野レスキューネット

④ いきいき講座：演歌体操講習会

“御柱”の曲を演歌体操にいただき、いきいきサロンのメニューの1つに加えることを目的に開催しました（御柱に参加できない方々などへ、祭りの余韻をお届けしたい）。

開催日：2月26日（土）、3月3日（木） 会場：総合福祉センター

講師：伊那市体育指導員ダンシングハート代表 松田悦子氏

参加者：地区ボランティアコーディネーター

⑤ 傾聴ボランティア養成講座・ステップアップ講座

お年寄りの人生を聴く、コミュニケーションを円滑に。心を傾けて聴く、傾聴ボランティア活動は、少子高齢社会の現在とても大切な活動として、養成・ステップアップ講座を開催しました。

開催日：1月29日（金） 会場：家庭教育センター
講師：NPO法人ホールファミリーケア協会 理事長 鈴木絹英氏

参加者：52名

⑥ シャララカレッジ

社会問題や社会福祉に関する様々な課題・問題をテーマに掲げ学びあうことで、偏見を無くし正しい理解を広げ、多くの方に様々な課題を自分の身に引き寄せて捉えることを通して、共に生きる安心で豊かな地域づくりを主体的に取り組んでいただくきっかけとすることを目的に開催しました。会場：茅野市健康管理センター

開催日	内 容	講 師	参加者
2月24日（水）	『薬物乱用の恐ろしさ』	諏訪保健福祉事務所食品生活衛生課係長原正彦氏 協力：茅野ライオンズクラブ	12名
2月25日（木）	『精神障害者について知ろう』	NPO法人やまびこ会ひまわり作業所、通所者の方々およびご家族、作業所指導員 協力：ヤンセンファーマ株式会社	52名 （疑似体験者含む）

（5）出前福祉講座の開催

住民の福祉意識の醸成や支えあいの地域づくりの推進・支援を目的として開催しました。

実施回数：12回 参加人員数：516名

3 ボランティア・市民活動の推進・支援

多様化する社会の中で、『福祉コミュニティづくり』の担い手としてのボランティア・市民活動の持つ役割や意義の啓発、また、推進・発展・協働を目指して事業を展開してきました。

（1）コーディネート機能の充実（相談・斡旋件数 約3,300件）

ボランティア・市民活動団体、市民、学校、企業、行政など様々な団体及び個人からのボランティア・市民活動などに関する相談や問い合わせがありました。各課題に対しては、情報提供や応援・支援、また、関係機関・者などへのコーディネート（含：プラットフォーム機能）などを果してきました。

（2）ボランティア・市民活動センター運営委員会の開催

茅野市ボランティア・市民活動センターの理念を踏まえ、ボランティア活動・市民活動の主体性を尊重するとともに、センターと協働しながらセンターの事業を推進するボランティア・市民活動センター運営委員会を開催しました。また、『福祉21 ビーナズプラン 第2次計画』の策定に向けて「ボランティア・市民活動部会」として、協議を行いました（委員数：14名）。

委員会開催回数：16回 幹部会：3回

（3）災害救援ボランティアセンター研修会開催

茅野市はいつ災害が来てもおかしくないといわれている地域です。そのためにより多くの方々に『災害の起きるわけ』『災害救援ボランティアセンター』についての学びや立ち上げのシュミレーションを体験し、防災に強い茅野市にしたいという目的で開催しました。

開催日：9月6日（土） 会場：総合福祉センター

参加者：52名（ボランティア・市民活動センター運営委員、ボランティア連絡協議会理事、茅野レスキューネット会員、地区ボランティアコーディネーター、茅野子ども福祉教室メンバー、社協職員等）

内容：講義 豪雨災害の起こるわけ、災害救援ボランティアセンター開設にむけて
実践 災害救援ボランティアセンター立ち上げ訓練

（４）連携・協働

① 茅野市ボランティア・市民活動センター登録グループ

登録団体数：132団体 延べ登録活動者数：4,644名

② 茅野市ボランティア連絡協議会との連携、協働（48団体）

ボランティアグループの連携・活動支援、ボランティア・市民活動推進などを目的として、様々なボランティア・市民活動センター事業と協働しています

③ 信州発ボランティア地域活動フォーラム参加

開催日：9月26日（土）、27日（日） 会場：小谷村

テーマ：わたしとあなたと自然と未来～塩の道でつなぐ・つながる～ 11分科会

記念講演：『青空市場は、ものと人の交差点』永島敏行さん

参加者：ボランティアグループ代表等 20名

④ ふれ愛フェスティバル（ボランティアの集い）開催

“おいにふれあい、学び、遊ぼう”をキーワードに毎年開催。

本年度は、V. 市民活動センター&総合福祉センターの場所や現状をより多くの方々に知っていただきたいという視点で、会場を総合福祉センターとしました。

開催日：7月25日（土） 会場：総合福祉センター 参加者：約300名

内容：遊びの広場、こどもの広場、おいしい広場、学びの広場、幸せの喫茶店、大道芸
太鼓演奏、演歌体操、手話ダンス、野菜市&フリーマーケット、すいとん など

主催：ふれ愛フェスティバル実行委員会・茅野市V. 市民活動センター

⑤ ふれ愛連（茅野どんばんの踊り連として参加）

ボランティア・市民活動者や様々な障害をお持ちの方々が、夏の一夜を多いに触れ合い、踊りあかそうと参加しましたが、豪雨のため中止になり残念でした。参加者：76名

⑥ 『届けませんか 一握りのお米を』への取り組み

市民対象に『野宿者支援』を呼びかける中で、『貧困』って何？『社会的な孤立』とは？の学びあいや博愛的な支援とは？の気づきなどを視野に入れながら取り組みました。

取り組み期間：12月1日（水）から21日（火）

収集実績 お米：3,566kg 義援金：7,000円（送料として使用）・白菜・大根・
じゃがいも・味噌・梅干し・海苔・切手・靴他

協力して下さった方々：26ボランティアグループ（約500名）、72個人（市民・農家の方）

送付先：大阪の野宿者支援団体“NPOおおぞら” 東京都野宿者支援団体“山谷農場”

長野市“反貧困ネット長野” 諏訪圏内“SOSネットワーク” 市内

呼びかけ人：茅野市ボランティア連絡協議会、茅野市ボランティア・市民活動センター

⑦ 被災地支援〈緊急募金〉

世界と共に！ 日本と共に！として、日本国内や世界各地に発生した災害に対して、必要な物資の収集や緊急募金等に取り組んできました。

義援金名	募金額	送付先	備 考
山口・福岡県豪雨災害支援	18,489円	日本赤十字社	ふれ愛フェスティバルのフリーマーケット売上金より
ハイチ大地震義援金	42,697円	日本赤十字社	募金総額の内、東洋精機職員一同 30,458円
チリ大地震義援金	—	—	平成22年4月26日まで、募金受付

(5) とともに生きる（もっと豊かに）

① 希望の旅事業の実施（希望の旅）

日ごろ、遠方に出かける機会の少ない方々対象に、ゆっくりと楽しいひと時を過ごし、参加者同士の交流を深めていただくことを目的として実施しました。

実施日	行き先	参 加 者
10月6日（水）	安曇野・黒部ダムの旅	障害者：15名 家族介助者：12名 ボランティア他：6名 計33名

② ミニドリームツアーの実施

障害をお持ちの方や高齢の方で、普段介助者がいないなどの理由で外へ出る機会が少ない方にリフレッシュしていただくためのミニツアーを、ボランティアグループ『おやじの出番』と共に実施しました。

実施日	行き先	参 加 者	内 容
6月27日（土）	～善光寺の旅～ ご開帳後の善光寺 を見に行こう	障害当事者：14名 家族介助者：3名 おやじの出番：10名 ボランティア等：4名 計31名	善光寺参拝・周辺散策・ お買い物（門前町・美 術館）
10月25日（月）	～秋の大芝高原を 楽しもう～	障害当事者等：7名 おやじの出番：7名 社協職員：1名 計15名	散策・温泉入浴・お買い 物・田楽座訪問

③ しあわせの喫茶店『しゃべ～る』実施

中途失明の方や透析を受けている方、心の病を持つ方、聴覚障害をもつ方などの「自由に集え仲間と語り合える場が欲しい」「自分たちも担い手として参加できる活動がしたい」等の声を受け、ボランティアグループが開催しています。

開催日：毎月1回 26日 午後1時から3時まで 会場：中部交流センター

内容：喫茶（コーヒー、お茶、手づくりまたは既成のお菓子、果物）

参加費：200円 イベント内容：手話教室、三味線演奏、歌声喫茶、演歌体操など

実施主体：ボランティアグループ『しゃべ〜る』（12名）

（6）ボランティア保険加入促進

ボランティアの方々が安心して活動に取り組めるよう、加入促進をしてきました。

加入実績：活動保険加入者：1,605名 行事保険：26件

送迎サービス補償：2件 福祉サービス総合補償：7件

4 ボランティア・市民活動運営事業の推進

ボランティアグループ活動助成金の交付（別添資料2）

茅野市における地域福祉の向上を目指し、福祉活動に関する地域住民及び民間団体の自主的で継続的なボランティア活動を育成及び助成することを目的として、ボランティアグループの活動に対し、必要な資金の助成を行いました。

交付実績：35団体 計1,385,000円

5 啓発・広報・調査・研究

（1）ボランティア・市民活動情報紙『たまご』の発行

〇月1回、全戸配付 18,000部

企画・編集はボランティアによる編集委員会とともに行い、より読みやすい紙面づくりと、より多くの情報発信につとめました。

（2）ボランティア福祉情報、各種福祉講座、イベントなどのチラシ配付・情報提供

市内の郵便局、温泉施設、福祉施設、開業医、関係機関、学校、大型店などに掲示依頼しました。

6 その他

（1）どっこいしょ広場の運営

福祉バスビーナちゃんの待合所として開設された『どっこいしょ広場』には、社協会費を使用しての湯茶サービスや様々な情報掲示板、ボランティアグループによる作品の展示などがあり、お年寄りのみならず市民や学生・旅行者の『ふれあい・お休み処』として喜ばれています。

また、ボランティアグループ『どっこいしょ』が毎月8日に実施している『どっこいしょ喫茶』や、ボランティアグループ『ともしび』が毎月第4土曜日に実施している『歌声喫茶ともしび』も大変好評で毎回40名ほどの市民が集ってきます。（どっこいしょ広場 利用者数：月平均4,000名余）